

システム～

はじめに～少しの“無駄”から～

- ・ 事務員：紙の要求書をExcelへ転記→発注リストを作成
- ・ 職員：発注リストを見て、発注システムへ再入力

同じ情報を3回入力している

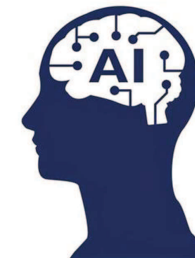


これ、本当に必要？

きっかけはAIとの出会い

- ・「物品管理を楽にしたい」と相談
- ・提案キーワード：「**位置管理**」「**在庫管理ソフト**」「**バーコード**」



予算が厳しいならマクロを使って
システム化する方法があるよ！



※マクロ：Excelで作業を自動化する仕組み

新システムの全体の流れ

～“データの一筆書き”へ～

- ①QRコード読み取り
- ②出庫入力シートへ一括出力
- ③処理実行ボタンを押す 
- ④在庫リストへ反映
- ⑤発注処理ボタンを押す 
- ⑥発注リスト出力

[illegible]

5

Excel spreadsheet showing a detailed inventory and shipping log. The spreadsheet has multiple columns for item names, quantities, and dates. A blue box highlights a specific section of the data.

7

改善による時間削減効果 ※ 1日10件処理と仮定

【旧システム】

要求書の記入： **6分40秒**

出庫処理： **2分30秒**

発注処理： **1時間5分**

【新システム】

要求書の記入： **0秒**

出庫処理： **10秒**

発注処理： **5分**

合計削減： **4時間/月**
(年間約48時間)



6

Excel spreadsheet showing a simplified inventory and shipping log. The spreadsheet has multiple columns for item names, quantities, and dates. A blue box highlights a specific section of the data.

8

作業する時間は減らしても、考える時間は減らさない ～判断すべき点は残し、人が主体的に考え抜く仕組みに～

【作業する時間】

発注リストの出力形式

商品名 | メーカー | 品番 | 規格

➤セルを1つずつコピーする作業を削減

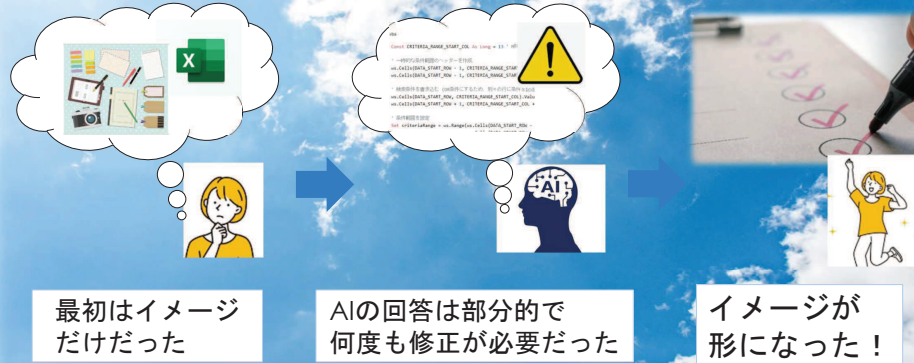


【考える時間】

発注数は”あえて”自動で出力しない

➤予算や緊急性に応じて、人が柔軟に考えるため

思いが形になる

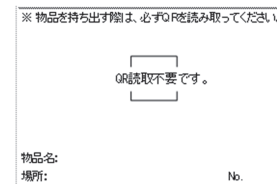


《付録①》 QRカード



【QRカード】

- ・使用課ごとに色分け。自分の所属が一目でわかるように。
- ・各物品ごとに用意



【QR不要カード】

- ・付箋や封筒など、安価で大量に使うものは手間を考慮し、個人のQRコード読取を不要に。代わりに倉庫や箱から出した際に、経理係で読み取る。

ご清聴ありがとうございました

《付録②》 QRコード運用に関する協力者一覧

本システムの運用にあたり、経理係事務員のお二人に多大なご協力をいただきました。

ここに記して深く感謝申し上げます。

- ・QRカードのレイアウトを考案し、棚卸順や発注点の再検討をしてくださった 板垣 様
- ・大量のQRコードデータを作成してくださった 加藤 様

